

美祢市DX推進計画 R3年度進捗状況

基本方針を推進する取組	取組	R3実績	KPI 評価 (参考)
① 自治体の情報システムの標準化・共通化	現行システムの概要調査	自治体クラウド(県内7市町)協議会における標準化・共通化への移行の基本的方針の決定。移行推進体制の準備	B
	申請タブレット端末の導入	導入に係る仕様決定。導入手続きの実施	B
② マイナンバーカードの普及促進	出張申請の実施	確定申告会場での出張申請を実施 期間 令和4年2月17日から3月15日まで 場所 美祢地域における確定申告会場(厚保公民館、豊田前公民館、於福公民館、市民会館) 実績 延べ20日(4時間/日) 受付者数 240人 (資料)	B
	マイナンバーカードの新たな利活用策の検討	全庁におけるヒアリングを実施し活用策について検討を実施	C
③ 自治体の行政手続のオンライン化	オンライン化手続の洗い出し	市民がマイナポータルから申請が想定される27手続きについて事前作業を実施	B
④ 自治体のAI・RPAの利用の促進	AI・RPAの共同利用の検討	庁内業務において、AI・RPAの導入・活用を検討(県の共同利用事業により実施)	B
	対象業務の選定	RPA検討対象業務を5業務選定し、ヒアリング等を実施。最終的に2業務について、シナリオを作成。	B
⑤ テレワークの推進	テレワークシステムの検討・庁内の業務方針の検討	テレワークシステムの仕様に沿った運用指針等の検討	C
	テレワークシステムの導入	テレワークシステムの仕様を決定し、システム導入に着手。(コロナの影響によりサーバの調達に年度内にならず、R4年度に繰り越し) R4年9月頃運用を開始する予定	C

美祢市DX推進計画 R3年度進捗状況

基本方針を推進する取組	取組	R3実績	KPI 評価 (参考)
⑥ セキュリティ対策の徹底	情報セキュリティポリシーの改訂	主要な所属に対してのヒアリングを実施、現在、ポリシーの改訂作業を実施。主な改正内容としてCISOを設置するとともに、情報インシデントやアクシデントが発生した際の迅速な対応を目的にCSERTを設置。(資料)	B
	セキュリティ研修の実施	デジタル推進課職員(1人)にセキュリティ研修を実施(全国市町村国際文化研修 オンライン) セキュリティポリシーの改訂に併せ情報セキュリティ研修「マイナンバーの安全管理と連動したセキュリティ強化」を実施。 93名受講(3月)	B
⑦ 地域社会のデジタル化	ドローン活用による買い物支援(実証実験)	令和4年3月4日～5日にかけて秋芳町八代地区で買い物支援(配送)に係る実証実験を実施。防災ほか、今後ドローン活用が見込まれる部署の担当者が視察に参加し、知見を得るとともに、実証実験の実施内容の分析、評価を実施した。	B
	ワーケーション推進等各種補助の実施	IotAIロボット等ビジネスマッチング事業補助金事業の実施	C
⑧ デジタルデバイド対策	防災アプリ、携帯電話通信網を活用した告知システムの導入	R3.10防災アプリ運用開始(約2300名登録) また、携帯電話通信網を活用した告知システムの業者(戸別受信機調達含む)を選定し、13公民館に屋外拡声器の設置工事に着手した。	B
	スマホ教室の実施	主にスマホ未所持者を対象としたスマホ教室を各公民館等で実施(10月～3月まで、5回実施) 参加者 延べ50人	B
	地域における相談学習支援体制の検討	今後の体制について、関係各所と協議を実施	C

美祢市DX推進計画 R3年度進捗状況

基本方針を推進する取組	取組	R3実績	KPI 評価(参考)
⑨ オープンデータの推進	データカタログサイトの更新・ベースレジストリへの対応	データカタログサイトのデータを随時更新(現在15種類)	C
	データ収集・分析に係る研修	3月18日～23日にかけてDX推進員を対象に仮説検証型地域保健施策推進のための高度人材育成研修を実施。 延べ参加者 69人 (資料)	A
⑩- 1 市民サービスのデジタル化	受付申請システムの検討	窓口担当職員を中心にシステムデモを実施。システム概要を理解した上での、現時点における課題等を確認した。 R4年度当初予算への事業費を計上。	B
	窓口等におけるキャッシュレス決済の推進	R3.11月から運用開始(対象手続、65手続)、実績(11月～3月) およそ650件、13万2千円の取り扱い実績	A
⑩- 3 デジタル情報発信の強化	既存システムの情報発信のルール策定	ホームページの提供情報の見直しの実施、今後の公式SNSの在り方について検討。	C
⑩- 4 デジタル人材の育成	デジタル研修	DX推進員に対しeラーニング研修(J-LIS主催)を実施(7種 62人参加)	B
	データ収集・分析に係る研修(再掲)	3月18日～23日にかけてDX推進員を対象に仮説検証型地域保健施策推進のための高度人材育成研修を実施。 延べ参加者 69人 (資料)	A
	専門人材の活用	R3.7 総務省地域情報化アドバイザー遠藤氏をDX推進アドバイザー兼CIO補佐官として登用。 DX推進計画策定やR4年度のDX関連事業の事業展開について、本部会議への参加やWeb会議等により、専門的な立場から助言等をいただいた。	A

美祢市DX推進計画 取組結果判定基準

計画を上回る	計画どおり	計画を下回る
(期限を前倒し又は計画を上回る内容)	(期限、内容とも計画どおり)	(期限より遅れた又は計画を下回る内容)
A	B	C